

本年度の学校経営の目標と方針

学校教育目標：「元気」「勇氣」「根気」のある子どもの育成

学校経営目標：「学校大好き！米田っ子！－地域に信頼される魅力ある学校づくり－」

学校経営方針：①チームワーク（子どものために仲間になる）②学習（子どもの学力を高める）  
③安心（子どもの居場所をつくる）④安全（子どもの命を守る）

本年度の学校の取組

重点取組：①信頼関係の構築②特別支援教育の充実③生徒指導の徹底④人権教育の充実⑤危機管理の徹底  
特別取組：①学習指導の推進

総合的な自己評価

○学校経営目標を「学校大好き！米田っ子！－地域に信頼される魅力ある学校づくり－」とし、安全・安心・学習・チームワークの4視点から取組を推進してきたが、概ね達成していると自己評価している。とりわけ、特別支援教育、開かれた学校づくりの評価観点では、全教員で取り組む体制ができたこと、学校の教育活動の情報発信ができたことなど取組の充実がうかがえる。

○教職員が行う自己評価の課題として、①めざす学校像の共有化と学校経営に対する参画意識の向上、②児童の変容に焦点を当てた評価力の向上と評価方法の検討、③取組のねらいや目標の具体化と教育活動の積極的な情報発信があげられる。

自己評価方法の適切さ

自己評価の方法については、下記の点より工夫が見られ、概ね適切である。

- ・重点取組、特別取組に絞り項目を設定したことが、評価を明確にしている。
- ・教職員の評価を保護者及び児童のアンケートと関連させ、数値化し評価している。
- ・全教職員が評価観点ごとに分かれアンケート項目作成、結果の考察、改善方策の検討を行い、学校全体で取り組んでいる。
- ・学校の取組によって、4月から比べて児童が変容したかを聞く設問を用意することも大切である。

総合的な学校関係者評価

○本校における教育活動は良好である。学校自己評価も概ね適切である。次年度の取組に期待する。取組の成果を具体的に捉えることができる学校自己評価となっている。なお、学校自己評価により浮かび上がった課題を学校全体でとらえ取り組むよう期待する。

○学校評価を行う体制は整備されている。アンケートも米田小学校の独自性が見られ、取組の方針が明らかになっている。今後、有意義な米田小学校に適した学校評価を継続・実践・活用し、学校経営を進めてほしい。学校の教育活動を外部に発信し、今以上に情報公開する必要がある。

○将来を見据えてさらなる向上を考えるうえで、他方向から客観的データにより評価することは必要であるが、形式的な評価にならないようにしてほしい。「A」評価となった時も達成したと思ってしまう評価の中身を変えていくことが望ましい。開かれた学校づくりの来年度の取り組みに「支援ボランティアとの連携」が入っていることはいいことだと思う。

○保護者が自由に記述する部分において、子どものために気にかかるものについては、適切に対応をしていって欲しい。

自己評価結果

評価観点（取組内容）	評価項目（具体的な活動）	達成状況	改善の方策
組織運営	①チームとしての指導の実践 ②チームとしての校務の実践	ほぼ達成	①学校経営への参画、教育活動の協働 ②校務分掌等の連携の充実
危機管理体制	①危機管理の徹底 ②実践的な研修・訓練の実施 ③安全教育の実施	ほぼ達成	①危機管理（学校事故、施設管理、不審者対応、情報管理）マニュアルの見直し ②マニュアルを活用した研修・訓練及び保護者、地域を含めた訓練の実施 ③防災、防犯、安全の年間計画に基づいた指導の充実
校内研修（教職員の資質向上）	①校内研修の実施 ②授業研究の実践	ほぼ達成	①学校の課題に応じた計画的な研修の実施 ②全教員一人一回以上の公開（研究）授業の実施
生徒指導	①生徒指導体制の確立 ②個に応じた指導の工夫	ほぼ達成	①米田っ子のくらし、月別目標、強化週間による統一した指導の工夫 ②問題行動等の指導方法の徹底
学習指導（確かな学力）	①指導（学習）時間の確保 ②授業の工夫改善 ③教室環境づくり	ほぼ達成	①「放課後タイム」の実施・指導時間の確保 ②わかる喜び、学ぶ楽しさを実感させる授業の創造 ③学習の場としてふさわしい教室・学校環境づくり
道徳教育 人権教育	①「道徳の時間」の指導の工夫 ②人権尊重の精神の育成	ほぼ達成	①重点的教材の授業展開の工夫 ②人権感覚を高める統一した指導の工夫
体育・保健指導	①運動への意欲、体力・運動能力の向上 ②食育の推進	ほぼ達成	①体育年間計画の見直しと指導方法の工夫改善 ②米田っ子「エネルギー」健康プログラムの推進
特別支援教育	①個々の課題を明確にした指導計画の作成 ②指導方法、指導体制の工夫改善	ほぼ達成	①担任の主観による児童理解からチェックシート等に基づく客観的な児童理解へ ②動きやすく、子どもがよく見える支援体制の充実
体験活動	①特別活動の充実（学校行事） ②特別活動の充実（学級活動など） ③総合的な学習の時間の充実	達成	①感動のある学校行事の計画・実施・啓発 ②自主的な学級活動・児童会活動の計画・実践 ③米田学（ふるさと学習）による地域のよさを学ぶ総合的な学習の時間の実践
開かれた学校づくり	①学校取組の情報発信 ②学校（授業）公開の実施	達成	①学校だより・学年だより等による情報発信 ②オープンスクールなどによる保護者・地域との連携 ③支援ボランティアとの連携

自己評価の適切さ
<p>昨年度の評価を踏まえ、課題を分析し、具体的な目標を掲げ校務を遂行している。今後もより組織的に取り組むために次のことに留意していただきたい。</p> <p>&lt;組織運営&gt; 開放的で向上心がある組織となっているが、教職員の健康面も留意し、校務を行うようにしていただきたい。</p> <p>&lt;危機管理体制&gt; 定期的な校内安全点検、地域との連携した訓練等の取組は評価できる。</p> <p>&lt;校内研修&gt; 全教員が授業公開に進んで取り組むなど、計画的な研修によく取り組んでいる。</p> <p>&lt;生徒指導&gt; あいさつなどの基本的生活習慣がより定着するように家庭と連携しながら指導に取り組んでいただきたい。</p> <p>&lt;学習指導&gt; インフルエンザのために「放課後タイム」が十分に活用できなかったのが残念である。学習指導を学校経営の第一の目標に取り組んでいただきたい。</p> <p>&lt;人権教育・道徳教育&gt; 年間計画を見直し、人権感覚を高める取組をより推進していただきたい。</p> <p>&lt;体育・保健指導&gt; 来年度、新たに取り入れる米田っ子「エネルギー」健康プログラムを保護者と連携し、体育・保健指導に取り組んでいただきたい。</p> <p>&lt;特別支援教育&gt; より適切な行き届いた指導がなされる「個別の指導計画」を作成し、教員の共通理解を図り、研修を深めて課題の改善に取り組んでいただきたい。</p> <p>&lt;体験活動&gt; 昨年度に比べて「米田学」の評価が上がってきている。これは、充実した取組がなされた結果である。</p> <p>&lt;開かれた学校づくり&gt; 学校だより・学年便り等で学校の様子を知らせているが、より一層情報発信し、取り組みを広めていただきたい。学校支援ボランティアの種類・人数を増やすなど発展的な方策を考えていことはよいことだと思う。</p>